



東技研第01378-5号

平成18年08月11日

試験検査成績書

株式会社 栄養医学研究所 様

社団法人東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所
厚生労働大臣特許検査機関(薬毒法・水道法)
ISO 9001認証取得(食品試験検査)

ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	平成18年07月25日
試験品	DTXキレート ビタミン、ミネラル、クロレラ、シラントロ(ハーブ)含有
検査内容	マウスに対する急性毒性試験(経口)

試験検査結果

試験方法	①投与液の調製 試験品に精製水を加えて30%懸濁液(投与可能な最大濃度)としたものを投与液として用いた。 ②使用動物および投与方法 マウス(d d Y系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。 ③観察方法と期間 投与後の異常の有無について、1週間観察した。
観察結果	マウスに試験品を体重1kg当たり10gの割合で経口投与した結果、マウスに異常を認めない。

以下余白



東技研第01378-4号

平成18年08月11日

試験検査成績書

株式会社 栄養医学研究所 様

社団法人東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所
厚生労働大臣登録検査機関(薬事法・水道法)
ISO 9001認証取得(食品試験検査)

ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	平成18年07月25日
試験品	スーパーマルチMM ビタミン、ミネラル含有
検査内容	マウスに対する急性毒性試験(経口)

試験検査結果

試験方法	①投与液の調製 試験品に精製水を加えて30%懸濁液(投与可能な最大濃度)としたものを投与液として用いた。 ②使用動物および投与方法 マウス(d d Y系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。 ③観察方法と期間 投与後の異常の有無について、1週間観察した。
観察結果	マウスに試験品を体重1kg当たり10gの割合で経口投与した結果、マウスに異常を認めない。

以下余白



東技研第01378-7号

平成18年08月11日

試験検査成績書

株式会社 栄養医学研究所 様

社団法人東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所
厚生労働大臣登録検査機関(薬毒法・水道法)
ISO 9001認証取得(食品試験検査)

ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	平成18年07月25日
試験品	タラの肝油
検査内容	マウスに対する急性毒性試験(経口)

試験検査結果

試験方法	①投与液の調製 試験品原液を投与液として用いた。 ②使用動物および投与方法 マウス(d d Y系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。 ③観察方法と期間 投与後の異常の有無について、1週間観察した。
観察結果	マウスに試験品を体重1kg当たり30mlの割合で経口投与した結果、投与1時間後から下痢、肛門周囲の油の付着を認める。下痢は投与4時間後まで観察されるが給餌開始直後から食欲はあり、24時間後には正常に回復する。その後異常は認められない。

以下余白



試験検査成績書

株式会社 栄養医学研究所 様

社団法人東京都食品衛生協会
東京食品技術研究所
厚生労働大臣登録検査機関(薬事法・水道法)
ISO 9001認証取得(食品試験検査)

ご依頼の試験品の試験検査結果は以下のとおりです。

受付日	平成18年07月25日
試験品	フラックスオイル
検査内容	マウスに対する急性毒性試験(経口)

試験検査結果

試験方法	①投与液の調製 試験品原液を投与液として用いた。 ②使用動物および投与方法 マウス(d d Y系、雄、5匹)を投与前4時間絶食させ、経口ゾンデ針を用いて胃内に1回強制投与した。 ③観察方法と期間 投与後の異常の有無について、1週間観察した。
観察結果	マウスに試験品を体重1kg当たり30mlの割合で経口投与した結果、投与1時間後から下痢、肛門周囲の油の付着を認める。下痢は投与4時間後まで観察されるが給餌開始直後から食欲はあり、24時間後には正常に回復する。その後異常は認められない。

以下余白